

…花の村の四季…

大木の枝先に咲く桐の花

小 関 栄

山間の高いところに桐の花が咲いていた。この花の一つひとは淡紫色の五弁の筒状の小さな花で、スズランの様に斜め下向き、その花が沢山房になって大木の梢こずえに付いていた。藤の花が下に垂れて目線の高さで見事なのに、桐の花は梢の高い処であり目立たない。

桐は切り、伐りに由来して「切れば早く長ず」「伐って倍になる」ところから名付けられたというが、成長は実に早く種からも根からも増え、1~2年で数寸、10年経てば10寸余と早く大木になる。木の材色は白く軽く柔らかく木目も美しいので、家具、箱類、装飾建具などに使われている。昔から女の子が生まれると桐を植え、嫁ぐ時にタンスに加工して持たせてやるといわれていた。大きな木になり過ぎて庭木には向かないが、我が家の近くの桐もそうして植えられたものだろう。



桐は縁起の良い木、中国では梧桐ごとう(あおぎり)は鳳凰の棲む所とされ天子の御袍に桐竹鳳凰の文様に用いられ、日本でも平安の昔から衣装の文様や家紋に用いられてきた。近年では勲章にも登場し勲一等桐花大授章や白色桐葉賞などがあり、高貴なイメージ、花言葉も「高尚こうしょう」である。

万葉時代から詩歌にも唱われて大伴旅人の「梧桐日本琴一面」や平安時代の源氏物語の「桐壺たたら」、また、清少納言の「枕草子」などにも桐の花を称える文が載っている。(写真は我が家の近くの大木の桐と花)

あかつき 暁の空に映えたる 桐の花 淡水

こんにゃく芋を育てていま~す

倉馬の里 前田由美子

こんにゃく芋を見た事がありますか？本物のこんにゃくが食べたくてこんにゃく芋を作っています。こんにゃく芋は育てるのに3~4年かかりますが、育てる期間は芋が何年物かにより変わってきます。カボチャ位の大きさが、こんにゃくを作るのには一番理想です。

10月下旬には葉が自然に黄変し倒れますので、その時が収穫時期です。植え付けは5月中旬、水はけの良い所に、芽のまわりがくぼんでいるので、少し斜めに植えました。7月の初めに夏の暑さを避けるために寒冷紗をかけてやり、今は大きな葉が出てすくすく育っています。こんにゃくが作れたら、又報告します。

楽しみです！

(写真はこんにゃく芋)

